

奨励賞

# 京都大学 国際科学イノベーション棟

京都市左京区



建築主

国立大学法人 京都大学

設計者

株式会社 山下設計

施工者

鹿島建設 株式会社

## 深い軒による外壁の保護、 間取りの変容性等による長寿命化

大屋根により「ひとつ屋根」の意匠に加え、外壁を汚れから保護している。メンテナンスバルコニーや配管目隠しルーバーを設け、設備の保守・更新性と意匠性を考慮すると共に、ラボやオフィスは可動間仕切や二重床等により可変性を確保し、建物の長寿命化を図っている。

## 自然エネルギーの利用や 電力使用の平準化

屋上の太陽光発電パネルや、地下ピットに設けたクールチューブによる熱交換等、自然エネルギーを利用している。高効率変圧器や全館LED照明の導入、明るさセンサーによる照明制御により使用電力を低減し、リチウム蓄電池による電力使用の平準化を図っている。

## サステナブルキャンパス 構築に向けた取組

トイレ洗浄水への雨水利用や超節水型機器の導入、自転車利用を促すためのシャワー室や駐輪場の整備、部屋毎の使用電力及び使用水量の「見える化」等の取組により、アメリカ発の建築物環境性能評価システムLEEDのゴールド認証を国立大学法人として初めて取得した。



奨励賞

# グランドメゾン京都岡崎

京都市左京区



建築主

積水ハウス株式会社大阪マンション事業部

設計者

株式会社東洋設計事務所

施工者

株式会社金山工務店

## 低層かつ深い軒庇による外壁の保護

建物高さを低く抑え、軒庇を深くして外壁タイルや窓を保護し、メンテナンスをしやすくすることで建物の長寿命化に取り組んでいる。深い庇により雨宿等のアメニティ向上に貢献し、バルコニーによる中間領域の形成や、目隠しフェンスにより防犯性に配慮している。

## 既存樹と既存の灯籠、 手水鉢等の再利用

内装には地域産木材を利用し、計画地にあった既存の灯籠や手水鉢等の古材を土地の記憶として保存し、環境負荷の少ない建築物としている。建物正面にあるシンボリックなクロマツを保存するような建物配置計画とする等、既存樹を可能な限り残すように配慮している。

## 軒庇の連続性と周辺環境に配慮した 通り景観の構成

岡崎近郊で100年以上残る自然林を調査し、その樹種による植栽計画を行い、生物環境の保全と創出に取り組んでいる。建物は、深い軒と連続する庇を設け、植栽、門、塀によって通り景観を構成することで、周辺地域に対する景観の配慮に取り組んでいる。

